

中関小の738人メッセージ記す 「なりたい自分」を宇宙へ ロケットで来年打ち上げ予定

中関小(大坪勇一校)の全校児童738人が、「なりたい自分」をASA(アメリカ航空宇宙局)と連携し、宇宙へ



メッセージカードを持ち、クラスごとに集合写真を撮影した

ロケット打ち上げの予定だ。モザイクアートは国際宇宙ステーションに載せられ、約1カ月で地球に帰還するという。

(杉田雄)

ジカードととも撮影した写真が、モザイクアートになってロケットで運ばれた。「第10回子ども宇宙プロジェクト」に「ジュエクト」に参加。2023年度が開校150年を迎えるため、機運を盛り上げようと取り組んだ。同プロジェクトは2011年に始まり、全国で73万人以上の子どもたちが参加。航空写真などを手掛けた。国際総合企画(本社・東京)が事務局を務め、国内関係機関やNPOが協力している。10月25日に同小で、クラスごとに写真撮影をした。児童らは目標や将来の夢を書いたカードを手に、集合写真に収まった。6年小川愛琉さん(12)は「みんなと仲良くする」「ジュエクト」に書いた。「友だちがいるとすごく楽しいので、3年度が開校150年を迎えたい。自分たちの決意が宇宙に行けば、みんなにも伝わるのかな」と笑顔を見せる。

同吉岡流真君(11)は「ユーチューバーになりたい」と夢を記した。「活躍して、いろいろな人を知ってもらいたい。(写真が)宇宙に行ったら、みんなに見てもらえるかな」と思いを膨らませた。本年度は150校が参加し、来年2月にモザイクアート制作、6月にロケット打ち上げの予定だ。モザイクアートは国際宇宙ステーションに載せられ、約1カ月で地球に帰還するという。